

令和 2 年度当初予算知事審査における主要な議論

(産業労働部)

■ 「渋沢栄一創業プロジェクト事業」(B42)

知 事 伴走型の創業支援事業についてスポーツに特化した理由は何か。

担当部局 スポーツ産業は、国が成長産業化を掲げるなど今後の市場拡大が見込める産業だからである。

また、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるタイムリーな時期ということにも配慮した。

知 事 既存事業（イノベーションリーダーズ育成プログラム）は国庫補助事業であったが、新たな事業は県の単独事業である。これまでの知見をしっかりと活かして成果を出していかなければならない。

担当部局 既存事業の選考過程において 40 社程度の応募に対し最終的に 4 社にまで絞り込んでいる。新たな事業もそうしたプロセスを踏んで選定していくので、ご指摘の視点を十分に踏まえたビジネスプランを選定したい。

■ 「先端産業創造プロジェクト関連事業」(B43～47)

知 事 医療・ヘルスケア分野の支援対象はどこか。また、これまでどんな開発事例があったのか。

担当部局 医療機器がメインで、医療現場のニーズを拾い上げて県内のものづくり企業の技術で解決していくもの。例えば、病院で使用する酸素ポンベは残圧が低下すると危険であるため、残圧が少なくなったら音で知らせる装置を開発した事例がある。

知 事 PDCA を回していくためには、R3 年度に向けて成果を総括して示していく必要があるのではないか。

担当部局 R3 年度に向けてきちんと成果を総括する。

■ 「海外ビジネス展開支援事業」(B54)

知 事 展示会への出展のニーズをどこで把握するのか。例えばどこかの会場を借りて各国の大使や商社からニーズを聞く場を設けてもよいのではないか。

担当部局 御指摘の点を踏まえて実施していきたい。

知 事 ジェトロは各国のデータベースを作っている。ジェトロもしっかりと活用すること。

担当部局 了解した。

■ 「渋沢栄一翁を軸とした観光振興事業費」(B96)

知 事 本事業のターゲットをどう考えているのか。しっかりとターゲットを決めてターゲットに応じたPRをすることが大切である。

担当部局 渋沢栄一の認知度を更に高めて多くの人に興味を持ってもらい、埼玉県に観光客として来ていただきたいと考えている。渋沢栄一翁を知らない人に対しては、例えば、電車の車内に流す映像でシルエットを見せて、誰なのかを当てるクイズなどが考えられる。また、バスツアーの利用者にはリピーターが多いので、利用者に冊子を配布することも考えている。

知 事 渋沢栄一だけでなく、塙保己一や荻野吟子も含めた3偉人も含めて実施すること。

担当部局 了解した。

令和 2年度予算見積調書

課室名：産業支援課
 担当名：創業支援担当
 内線：3908

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B42	渋沢栄一創業プロジェクト事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	新事業創出支援事業費		
事業期間	令和 2年度～	根拠法令				宣言項目	08 稼ぐ力の向上			
						分野施策	040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援			
<p>1 事業概要</p> <p>渋沢栄一翁の理念を受け継ぐ起業家や起業希望者、ベンチャー企業を支援することにより、新産業の創出や地域経済の活性化を促進する。</p> <p>(1) 伴走型の創業支援事業 50,841千円</p> <p>(2) 「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」検討事業 5,012千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 伴走型の創業支援事業 50,841千円</p> <p>(ア) イノベーションリーダーズ育成プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ分野において斬新なアイデアを有する若い世代の起業家等を発掘し、アイデアやプラン等をブラッシュアップ ・第一線の起業家やコンサル等による伴走型の支援 <p>(イ) 伴走支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ分野における成長意欲のある起業家・ベンチャー企業に対して、マッチング、資金調達等、創業・ベンチャー支援センター埼玉による伴走型の支援。 <p>イ 「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」検討事業 5,012千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業家や異業種の企業が交流し、マッチングが創出される場を検討する。 <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 伴走型の創業支援事業</p> <p>(ア) イノベーションリーダーズ育成プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩起業家等による助言指導、ワークショップ、ビジネスマッチング、ピッチイベント <p>(イ) 伴走支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩起業家等による助言指導、ビジネスマッチング、ピッチイベント <p>イ 「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」検討事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ等調査、有識者会議の設置・運営、サロンにおけるベンチャー支援のあり方についての検討 <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 伴走型の創業支援事業</p> <p>イ 「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」検討事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業の促進やベンチャー企業の振興を行い、県内経済の活性化を図る。 ・ベンチャー企業と県内の大企業、中小企業とのビジネスマッチングを支援することで、連携・オープンイノベーションを促進する。 <p>(4) 県民、民間活力、職員マンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)埼玉県産業振興公社、県内市町村、支援機関、金融機関、大学等と連携して事業を実施する。 ・ベンチャー企業と県内の大企業、中小企業との連携・オープンイノベーションを生み出す。 						
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) (国1/2、県1/2) (県10/10)</p> <p>(2) (県10/10)</p>										
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×2人=19,000千円</p>										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金								
決定額	55,853	15,420						40,433	25,606	
前年額	30,247	15,123						15,124		

令和 2年度予算見積調書

課室名: 先端産業課
 担当名: 推進担当、総務・企画担当
 内線: 3735 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B43～ B47	先端産業創造プロジェクト関連事業			一般会 計	商工費	商工業 費	商工振興費	次世代産業支援費			
事業 期間	平成26年度～ 令和3年度	根拠 法令				宣言項目 分野施策	08 稼ぐ力の向上 040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進				
1 事業概要	<p>県内に付加価値の高い先端産業を育成するため、研究機関や企業、大学等の先端技術に関する人材・技術・情報を集結させ実用化開発・製品化開発を推進し、産業活性化、雇用創出、税収増加に結びつける。</p> <p>(1) 医療・ヘルスケアプロジェクト推進事業 156,301千円 (2) 新エネルギープロジェクト推進事業 39,605千円 (3) 航空・宇宙・モビリティプロジェクト推進事業 103,900千円 (4) 先端素材プロジェクト推進事業 58,945千円 (5) 先端産業創造推進事業 347,507千円</p>			5 事業説明							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) (国1/2、県1/2) 産業振興公社0				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 医療・ヘルスケアプロジェクト推進事業 156,301千円 ・ 医療機器等開発実用化支援事業、医療イノベーション埼玉ネットワーク運営事業 等</p> <p>イ 新エネルギープロジェクト推進事業 39,605千円 ・ 次世代型蓄電池研究開発事業、開発製品等の事業化支援事業、CEMS事業参入支援事業 等</p> <p>ウ 航空・宇宙・モビリティプロジェクト推進事業 103,900千円 ・ 航空・宇宙産業参入支援事業、スマートモビリティ実証事業、実証フィールド運営事業 等</p> <p>エ 先端素材プロジェクト推進事業 58,945千円 ・ 先端素材実用化開発事業、先端素材人材育成事業</p> <p>オ 先端産業創造推進事業 347,507千円 ・ 先端産業有識者会議運営事業、先端産業支援センター運営事業、成果のPR・見える化事業 ・ 社会課題解決型オープンイノベーション支援事業、ロボット研究開発支援事業、ロボット人材育成事業、AI・IoT技術支援事業、AI・IoT普及・活用支援事業、AI活用機器等開発事業</p>							
3 地方財政措置の状況	なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×19人=180,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比	
		国庫支出金	繰入金	諸収入							
決定額	706,258	18,830	658,280					29,148	△192,803		
前年額	899,061	867,843	2,070					29,148			

令和 2年度予算見積調書

課室名: 企業立地課
 担当名: 国際経済担当
 内線: 3779

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B54	海外ビジネス展開支援事業			一般会計	商工費	商工業費	販路拡張費	国際経済協力交流費	
事業期間	平成16年度～令和3年度	根拠法令	なし	宣言項目分野施策		08	稼ぐ力の向上		040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援
1 事業概要	アジア及び中東・アフリカ等における海外ビジネス展開を支援するとともに、新たに海外市場を目指す企業の裾野を拡大する取組を推進する。 (1) 海外展示会への県産品出品 7,200千円 (2) アセアン訪問団の派遣及び受入れ 19,312千円 (3) 海外ビジネスサポート拠点の運営 30,776千円 (4) 先端産業等の海外販路開拓 47,418千円 (5) 企業と外国人材のマッチング 5,150千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 海外展示会への県産品出品 7,200千円 海外市場に対する県内企業のニーズ等を調査するとともに、海外展示会への出展を支援する (ア) (新) 県内企業海外ビジネス展開意向実態調査 イ アセアン訪問団の派遣及び受入れ 19,312千円 (ア) 県訪問団の派遣 (イ) 経済訪問団の受入れ ウ 海外ビジネスサポート拠点の運営 30,776千円 エ 先端産業等の海外販路開拓 47,418千円 ジェトロや産業振興公社と連携し、先端産業分野製品やハラル認証食品等の海外販路開拓を支援する (ア) ジェトロ負担金 (イ) 産業振興公社と連携した海外展開支援 (ウ) 米国ビジネス推進事業 オ 企業と外国人材のマッチング 5,150千円 ジェトロや現地政府と連携し、県内中小企業の人材確保を支援する (ア) 県内大学の留学生と企業のマッチング・就職支援 (イ) タイ工業省からの研修員受入れ (ウ) 現地大学と連携したジョブフェアの開催 (2) 事業計画 平成29年度～令和3年度 埼玉県5か年計画に基づき海外を目指す県内中小企業の裾野を拡大 (3) 事業効果 県内中小企業の国際競争力の強化と海外取引活動の活性化による雇用の拡大や税収の確保が期待できる (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 日本貿易振興機構(ジェトロ)、埼玉県産業振興公社と協力して事業を実施					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10) 埼玉県産業振興公社0								
3 地方財政措置の状況	特別交付税 外国の地方公共団体との国際交流事業等に要する経費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×6人=57,000千円								
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	109,856							109,856	△11,489
前年額	121,345							121,345	

令和 2年度予算見積調書

課室名：観光課
 担当名：観光・アニメ担当
 内線：3952

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B96	渋沢栄一翁を軸とした観光振興事業費			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費	
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	なし			宣言項目分野施策	11 040835	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化 観光の振興	
1 事業概要 渋沢栄一翁が新一万円札の肖像に選ばれ、大河ドラマの主人公に決定したことを好機ととらえ、地元深谷市等と連携し、県内外からの観光客誘客を図る。 (1) 県外をターゲットとした情報発信事業 26,165千円 (2) 広域周遊促進事業 4,000千円 (3) 大河ドラマバックアップ事業 55,750千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 県外をターゲットとした情報発信事業 26,165千円 (ア) 公共交通機関等の媒体を活用した首都圏における広告展開 ・JR・地下鉄車内ビジョンへの動画広告掲出 ・都内を走るバス車体へのラッピング広告掲出 ・埼玉の三偉人を絡めた周遊イベントの実施 (イ) 広域に配布される旅のフリーペーパーを活用した広告展開 ・バスツアー参加者に栄一翁ゆかりの場所などを紹介する小冊子を配布 ・高速道路SA・PAで配布のフリーペーパーに広告掲載 (ウ) 経済誌等における広告企画による全国に向けた発信 イ 広域周遊促進事業 4,000千円 (ア) 旅行業界・メディアに対するプロモーション ・商談会等による旅行者への売り込み強化 ・メディア等向けモニターツアーの実施 ウ 大河ドラマバックアップ事業 55,750千円 (ア) 大河ドラマ「青天を衝け」深谷市推進協議会(仮称)に参加し、大河ドラマ館の設置運営等を支援 (2) 事業計画 ア 都内・首都圏における認知度向上・誘客に向けて情報を発信 イ 旅行への影響力が強い主体への働きかけを通じた広域周遊の促進 ウ 地元深谷市を支援し、市・県が連携して気運を醸成、観光を振興 ※企業版ふるさと納税の仕組みを活用して県外企業から寄附を広く募り、全国的な気運の醸成につなげる。 (3) 事業効果 観光消費額 ア 県外からの宿泊客 平成27年：19,100円→令和2年：23,400円 イ 県外からの日帰り客 平成27年：4,600円→令和2年：5,800円					
2 事業主体及び負担区分 (1)、(2) (国1/2・県1/2) 事業者0 (3) (県10/10) 事業者0									
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置 観光及び物産振興費 観光及び物産振興費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金	寄附金						
決定額	85,915	14,670	20,000					51,245	85,915
前年額	0							0	